

目的：新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活での変化や問題・課題について把握する。

問● 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活で特に困っていることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 収入の減少 | 2. 勉強する機会が少なくなった |
| 3. 支出の増加 | 4. 運動・スポーツの機会の減少 |
| 5. 仕事がなくなった・仕事が減った | 6. 外出の制限 |
| 7. 生活必需品の確保 | 8. 働き方の変化による負担 |
| 9. あなたと家族の健康悪化 | 10. 特にない |
| 11. その他（ | ） |

目的：現在や今後の暮らしの意向を把握し、直近（3年以内）の意向については、障がい福祉サービスの見込みへの反映も検討する。

問● あなたは現在、どのように暮らしていますか。（1つに○）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 一人で暮らしている（グループホームを除く） | |
| 2 家族と暮らしている | 3 グループホームで暮らしている |
| 4 入所施設で暮らしている | 5 病院に入院している |
| 6 その他（ | ） |

※ グループホームとは、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行います。また、入浴、排せつ、食事の介護などの必要性が認定されている方には介護サービスも提供します。

問● あなたは3年以内の近い将来、どのように暮らしたいですか。（最もあてはまるものに1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 一人で暮らしている（グループホームを除く） | |
| 2 家族と暮らしている | 3 グループホームで暮らしている |
| 4 入所施設で暮らしている | 5 病院に入院している |
| 6 その他（ | ） |

問● あなたは3年より後の遠い将来、どのように暮らしたいですか。（最もあてはまるものに1つだけ○）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1 一人で暮らしている（グループホームを除く） | |
| 2 家族と暮らしている | 3 グループホームで暮らしている |
| 4 入所施設で暮らしている | 5 病院に入院している |
| 6 その他（ | ） |

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 4. いっしょに活動する友人・仲間がない | |
| 5. 活動中での役割がない | 6. 活動に必要な技術や経験 |
| 7. 家庭の事情（病人、家事、仕事等） | 8. 活動場所が近くにない |
| 9. 活動場所の施設や設備が障がいのある人の利用に配慮されていない | |
| 10. 健康状態や体力 | 11. 参加したくなるようなものがない |
| 12. 過去に参加したが期待はずれだった | |
| 13. その他（ | ） |
| 14. さまたげになることは特にない | 15. 地域活動には興味がない |

② 障がい者関係団体

目的：市の障がい福祉施策を充実していく上で必要な取り組みについての意見を把握する。

問● 障害者への支援を充足させるために、必要な取り組みや配慮は何だと思えますか。（○は5つまで）

A 情報提供に関すること

1. 障害福祉サービスの内容や利用手続きなどに関する情報提供
2. 悩みごとが相談できる人や団体、機関に関する情報提供
3. 障害者の社会参加を促すための情報提供
4. 障害の特性に配慮した情報伝達の手法

B 障害者の就労に関すること

5. 企業などの積極的な障害者雇用
6. 通勤や移動に対する配慮や支援の充実
7. 障害の特性や程度に合った仕事の提供
8. 障害のあるかたに配慮した就労条件や職場環境の充実
9. 働く場の紹介（斡旋）や相談の充実

C 他の事業所や関係機関との連携に関すること

10. 他の障害福祉サービス事業所等との連携
11. 相談支援事業所との連携
12. 他分野（保健・医療、福祉、教育、雇用等）との連携

D 地域との関わりに関すること

13. 地域との交流など障害者の社会参加への支援体制の充実
14. 事業所の整備にあたっての地域住民の理解

E サービス利用者への支援に関すること

15. 重度障害者、要医療者への支援体制の充実
16. 虐待防止、差別解消など利用者の権利擁護体制の充実
17. 利用者のプライバシー保護・個人情報の管理の徹底

F 住まいに関すること

18. 障害に適した設備をもった住宅の整備
19. グループホーム等の居住系サービスの整備

G 社会参加や余暇を過ごすための活動に関すること

20. 気軽に参加できる場や機会の充実
21. バリアフリー等の利用しやすい施設への改善
22. 参加を補助するボランティアなどの育成

23. その他（ ）

③ 障がい福祉関係事務所

目的：地域生活支援拠点等の整備にあたり、事業所において担える役割の意向を把握し、地域生活支援拠点等の整備を進めていく上での検討資料とする。

問● 国は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能を地域の実情にあわせて整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制（地域生活支援拠点等）の構築を進めており、平成 32 年度までに市町村または各圏域に一つ以上整備することとしています。

市においては、障害者を支援する地域生活支援拠点等の整備にあたり、地域の複数の機関が分担して役割を担う「面的整備」を進めていきたいと考えております。

貴事業所は下記の役割を担うことが可能ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 24 時間の相談支援対応ができるコーディネーターの配置
2. 昼間の相談支援対応ができるコーディネーターの配置
3. 夜間の相談支援対応ができるコーディネーターの配置
4. 短期入所を活用した常時の緊急受け入れ体制の確保及び緊急時の受け入れや医療機関への連絡等の必要な対応
5. グループホームや一人暮らしの体験の機会・場を提供すること
6. 医療的ケアが必要な者や行動障害を有する者、高齢化に伴い重度化した障害者に対する専門的な対応
7. 専門的な対応ができる人材の養成を行うこと
8. 地域の様々なニーズに対応し、社会資源の連携体制の構築を行うこと
9. 障害者の権利擁護、成年後見制度の利用促進に関すること
10. 障害者虐待・困難事例等への対応
11. 担うことができない

④ 市民向け

目的：地域における障がい者支援に対して、共助に部分での市民の支え合い、助け合いの意向を把握する。

問● ここ2～3年で、障がいのある方に次のようなお手伝いをしましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 荷物を持った
2. 階段の上り下りや道路の横断、電車・バスの乗り降りに手を貸したり、声をかけたりした
3. 車いすを押したり、持ち上げるのを手伝った
4. 公共の交通機関等で席を譲った
5. 訪問したり、話し相手になったりした
6. かわりに買い物をした
7. 食事や惣菜を持っていった
8. 食事を作ったり、掃除や洗濯を手伝ったりした
9. 車で送り迎えをするなど外出の手伝いをした
10. その他 ()
11. 特にお手伝いをしたことはない

【問10で「特にお手伝いをしたことはない」に○をつけた方におうかがいします】

問● お手伝いをしたことがない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. お手伝いをするほど親しい人がいないから
2. お手伝いを必要とする人が身近にいない・必要とされたことがないから
3. 気恥ずかしさを感じるから
4. おせっかいのような気がするから
5. どのようにしてよいかわからないから
6. 専門の人や関係者に任せた方がよいと思うから
7. 関心がないから
8. その他 ()

問● 近所の障がいのある方などへの日常的な支援について、お考えに最も近いものをお答えください。(○は1つ)

1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい
2. 支援をしたいが、何をすればよいのかわからない
3. 支援をしたいが、自分のことが精一杯でその余裕がない
4. 支援は国・県・市やボランティアなどの仕事なので、近所の者はしなくてよい
5. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない
6. その他 ()